

無人航空機（ドローン）の飛行日誌 飛行記録

登録記号：_____ 種類・型式（型式認証書番号）：_____ 設計製造者・製造番号：_____ 機体認証の区分・番号：_____

飛行年月日	操縦者の氏名（技能証明書番号）	飛行の目的・経路	特定飛行の種類	離陸場所	着陸場所	離陸時刻	着陸時刻	飛行時間（分）	総飛行時間（分）	飛行の安全に影響のあった事項

- ドローンで農業を散布する飛行は、航空法の「危険物輸送」「物件投下」に当たる特定飛行です。特定飛行をするときは飛行日誌を備え、飛行・点検・整備のたびに遅滞なく書くことが義務です（航空法第132条の89）。人口集中地区の上空や、人・物件から30m未満の飛行など、ほかにも当たるものがあれば「特定飛行の種類」に並べて書きます。
- 1行が1飛行です。電源を入れて離陸し、着陸して電源を切るまでを1飛行と数えます。バッテリー交換などで電源を切ったら、次の離陸は新しい行に書きます。
- Excel では「飛行時間（分）」と「総飛行時間（分）」に計算式が入っていて、離陸・着陸の時刻（例 6:10）を入れると飛行時間が1分単位で出て、上の行の総飛行時間に足されます。前の日誌から続けるときは、1行目の「総飛行時間（分）」に製造後の総飛行時間を上書きで入れ、そのあとは行を空けずに書いてください。
- 表の上の登録記号・型式などは最初に1回書けば、各行に書かなくてかまいません。飛行日誌は機体ごとに作ります。
- 記入例の人名・場所・時刻は架空のものです。

無人航空機（ドローン）の飛行日誌 飛行記録の記事（不具合と処置）

登録記号：_____

発生年月日	不具合事項	処置年月日	処置その他	確認者
例 2026/7/20	散布中に左後ろのノズルから薬液が出にくくなった	2026/7/20	ノズルを外して洗浄し、試験散布で吐出を確認した	山田

- 飛行に関係する不具合が起きたときに、その内容と、行った処置を書きます。処置を確かめた人が確認者の欄に名前を書きます。
- 部品の交換や修理をしたときは「点検整備記録」のシートにも書きます。

無人航空機（ドローン）の飛行日誌 日常点検記録

登録記号：_____

実施年月日	実施場所	実施者	機体全般 (ネジ・コネク タ・ケー ブル)	プロペ ラ	フレー ム	通信系 統	推進系 統 (モ ーター)	電源系 統	自動制 御系統	操縦装 置	バッテ リー・ 燃料	散布装置 (タン ク・ポン プ・ノズ ル)	特記事項 (飛行後点検の結果を含 む)
例 2026/7/20	東1号わきの農道	山田	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	飛行後点検：西1号の散布後、左後 ろのノズルの詰まりを確認し洗浄し た

- 飛行させる日ごとに、飛ばす前に点検して結果を「正常」「異常」などで書きます。機体のメーカーが点検項目や点検の様式を指定している場合は、そちらに従います。
- 散布装置の欄は、農林水産省の安全ガイドラインが使用前の吐出の確認を求めているため、このテンプレートで加えた欄です。
- 見つけた不具合と、それを直した整備は「点検整備記録」のシートにも書きます。

無人航空機（ドローン）の飛行日誌 点検整備記録

登録記号：_____

実施年月日	総飛行時間 (分)	点検・修理・改造・整備の内容（交換した部品名）	実施理由	実施場所	実施者	備考（次の点検整備の予定 など）
例 2026/7/20	1,278	左後ろのノズルを洗浄。フィルターを新品に交換	散布中の吐出不良	自宅の作業場	山田	次の定期点検は8月末（メーカーの指定による）

- 定期点検、部品交換、修理、改造（散布装置の取り付け・取り外しを含む）をしたときに、作業をした人が書きます。前の記録と区別しやすいよう、記録の上下を1行ずつ空けます。
- 総飛行時間は、機体認証を受けた機体は前回の機体認証の検査のための点検整備以降の時間を、受けていない機体は作業をした時点の総飛行時間を書きます。
- メーカーなどが点検整備をして専用の様式に記録した場合は、その記録で代えられます。